

農 大

令和8年5月1日発行
愛知県立農業大学校

令和8（2026）年度版

だより

〒444-0802 岡崎市美合町字並松1-2
Tel : 0564-51-1601 Fax : 0564-51-4831
E-mail noudai@pref.aichi.lg.jp
ホームページ : <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/noudai/>



CONTENTS

- 1 新年度のあいさつ
- 2 令和8年度の学生状況
- 3 令和8年度入学式
- 4 先輩から新入生へのメッセージ
- 5 専攻トピックス
- 6 学校行事トピックス
 新年度スタート～始業式～
 就農希望者向けニューファーマーズ研修
- 7 お知らせ
 新任職員紹介
- 8 SNS 投稿 dialy

愛知県立農業大学校
公式HP



Instagram



X (旧 Twitter)



新 年 度 の あ い さ つ



校長 加藤 友康

この4月から校長を務めさせていただきます加藤です。よろしくお願いいたします。

関係者の皆様には、日頃より、本校の教育・研修活動に御理解と御協力をいただき、深く感謝申し上げます。

教育部は、4月8日(水)に入学式を行い、新入生81名が入学しました。翌9日(木)には始業式を行い、2年生89名を含めて総勢170名で新年度がスタートしました。

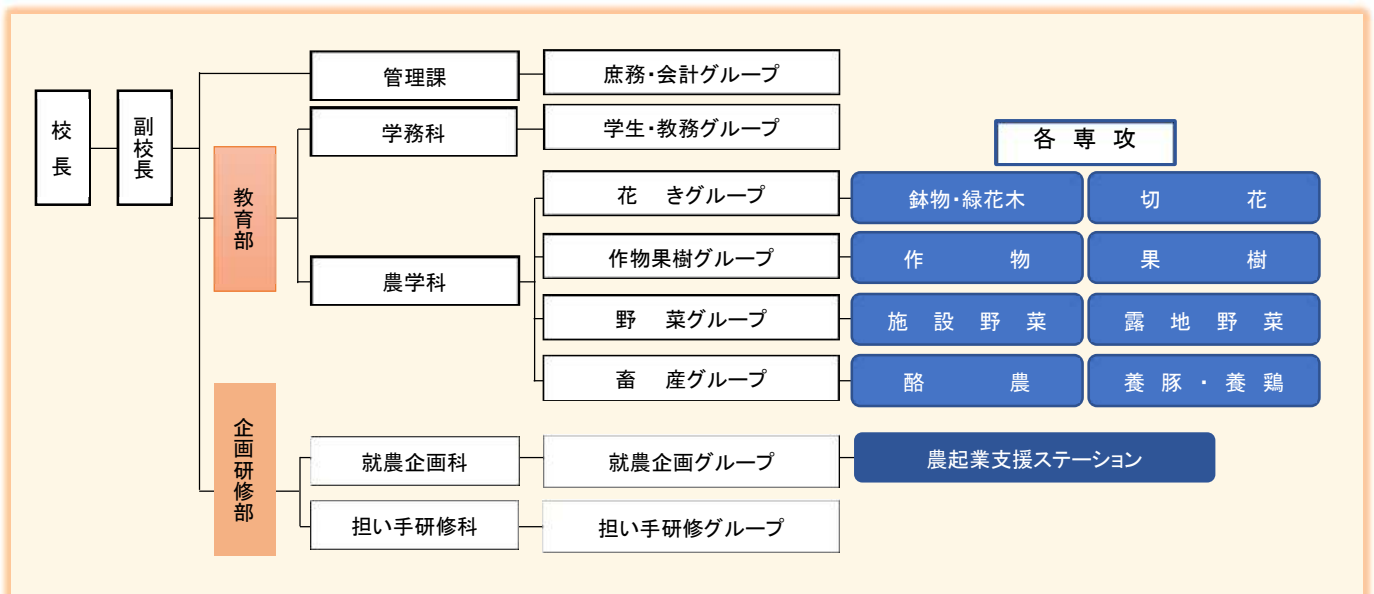
また、企画研修部は、4月早々から就農希望者の相談が始まるとともに、4月16日(木)のニューファーマーズ研修の開講を皮切りに、今後、その他の研修も順次始まります。

令和7年度の卒業生(学生)75名の進路は、4名が就農、21名が雇用就農、46名が農業関連団体・企業や公務員などに就職、2名が研修、2名が他県農大への進学など、卒業生全員が新しい進路に進むことができました。これからも、全学生が希望進路を叶えられるよう全力で支援してまいります。

そして、私の目標ですが、愛知県立農業大学校のキャンパスで一人ひとりが自身を磨き、卒業後は、本県の農業を支える人材として、「愛知県立農業大学校の卒業生です」と胸を張って言える、そんな素敵な学校にしたいと思っています。

本校は、昭和9年に追進農場として創設されて以来、今年で92年目を迎えます。37.5ヘクタールと広大な敷地の中で、学生や研修生が学ぶ賑やかで活気あふれる学校です。毎週水曜日午後3時からは、学生自身が育てた農畜産物をどのように上手く販売できるかを学ぶための実習として、地域の皆さんに直売を行っています。実習効果を高めるために、ぜひ農大へ足をお運びください。

職員一同、農業の実践教育・研修活動に精一杯取り組んでまいりますので、皆様の温かい御理解と御協力をお願いいたします。



令和8年度の学生状況について

令和8年度の農学科専攻別の学生数は表のとおりです。1年81人、2年89人、合計170人の学生が8つの専攻に分かれて在籍しています。

農学科入学者数の推移は図のとおりです。近年、入学者数は85人前後で推移しています。農家出身者は平成20年度に40%でしたが、直近では20%程度となっており、非農業系高校から進学する非農家出身者が増加しています。また、入学者の女子比率は30%程度で推移しており、令和8年度は33%となっています。

(企画研修部 鈴木潤)

表 農学科専攻別の学生数(令和8年4月1日現在) (注)カッコ内は女子の内数

課程	学年 専攻	人 数		
		1年	2年	計
園芸農産	鉢物・緑花木	6 (3)	7 (0)	13 (3)
	切花	0 (0)	9 (2)	9 (2)
	作物	7 (1)	6 (1)	13 (2)
	果樹	15 (4)	15 (4)	30 (8)
	露地野菜	15 (5)	15 (3)	30 (8)
	施設野菜	16 (5)	14 (2)	30 (7)
畜産	酪農	14 (7)	16 (11)	30 (18)
	養豚・養鶏	8 (2)	7 (3)	15 (5)
合 計		81 (27)	89 (26)	170 (53)

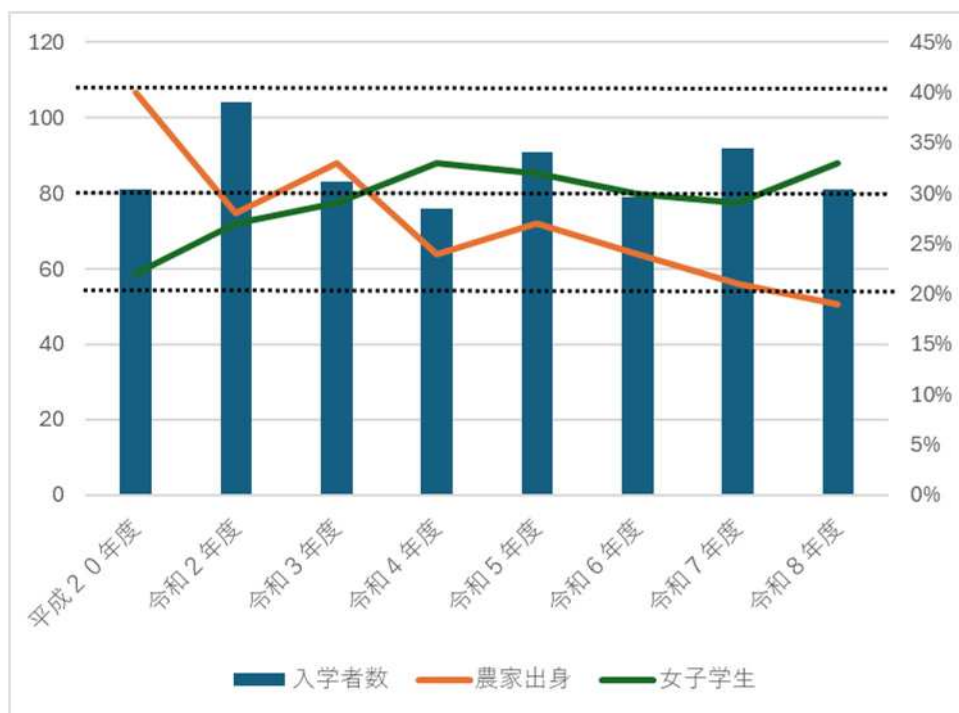


図 農学科入学者数の推移

令和8年度入学式を挙りました



校長式辞 加藤友康校長



来賓祝辞 後援会長 小野原真由美さん

教育部農学科の入学式を4月8日(水)に挙りました。穏やかな春の日差しが降り注ぎ、桜の花びらが舞う中、新入生の入学を歓迎するようでした。

厳粛な雰囲気の中、今年は81名(男子54名、女子27名)が入学し、これから始まる新しい学生生活を迎えるにあたって、不安と期待が入り混じった緊張した表情で式に臨んでいました。

新2年生89名と合わせて170名(男子117名、女子53名)の学生数は、全国の農大でもトップクラスの規模となっています。

式終了後は、入学手続きや実習服の受け取りなどが行われました。

新入生それぞれがこれから始まる2年間を有意義に過ごし、専門知識と技術を習得するとともに、社会性を身につけて本県の農業を担うリーダーとして大きく成長することが期待されます。

(学務科 野村和美)



歓迎の言葉
在校生代表 星野志央音さん



入学式宣誓
新入生代表 荒木伸之介さん

～ 先輩からのメッセージ ～



先輩から新入生へ励ましのメッセージです!



私たち鉢物・緑花木専攻では、シンビジウム、コチョウラン、シクラメン、観葉植物及び花木などの様々な種類の花を扱っています。毎日、綺麗な花に囲まれて楽しく作業をしています。一緒に頑張りましょう!!

鉢物・緑花木専攻 専攻長 近藤隼矢



一年生の皆様、ご入学おめでとうございます。

切花専攻では、色々な花を育てており、それぞれの花に合わせた作業を班ごとに実施しています。切花専攻に興味を持った方で、ご自身の専攻職員の許可がおりれば、他専攻の実習に参加できますので、ぜひ切花専攻の実習を体験していただきたいです。これから2年間、体調に気をつけてお過ごしください。

切花専攻 専攻長 橋本煌



作物専攻は、水稻、小麦、大豆を栽培しています。これらを栽培する上で、多くの機械に触れることができることが特徴です。また2年生になると1人1つのほ場を任されるので責任重大ですが、やりがいのある専攻だと思います。わからないことだらけで大変なことも多いと思いますが、一緒に頑張りましょう。

作物専攻 専攻長 武藤圭市



果樹専攻では、メイン品目としてぶどう、もも、ナシ、みかん、イチジク、ブルーベリーを栽培しています。夏場は収穫と調製で忙しいですが、直売のお客さんから「おいしい」と言われると嬉しいです!2年生で取り組むプロジェクト学習は、自分でテーマを決め、計画を立てて取り組むため、担当品目への理解が深まります。沢山笑って楽しく充実した2年間にしましょう!

果樹専攻 専攻長 須崎光太郎



露地野菜専攻では学生が主体で播種から出荷までの一連の作業を行っています。生徒同士で話し合いながら、効率よく作業を行うことを目標にしています。天候や季節によって大変な作業がありますが、新入生とともに毎日の作業を協力して楽しく実習をしていきましょう！

露地野菜専攻 専攻長 小久江幹太



私たち施設野菜専攻では、主に大玉トマト、ミニトマト、ナス、キュウリ、メロンを栽培しています。専攻実習では、一人一棟以上のハウスを担当して栽培管理をしています。基礎から学び、実践的に栽培することができます。みんなで楽しんで実習できたらと思います。

施設野菜専攻 専攻長 佐藤颯海



酪農専攻は、毎日牛のお世話をしています。生き物が相手ということで、思うようにいかないことや休みが少ないこともあり、大変です。一方で分娩などの貴重な経験ができ、日々試行錯誤して飼養管理を改善していくことで、自分自身の成長を実感できる専攻だと思っています。1年間一緒に頑張りましょう。

酪農専攻 専攻長 松本光波



養豚養鶏専攻では、豚と鶏に分かれて実習を行っています。養豚では種付けから出荷まで、養鶏では育雛から集卵・直売まで、命を育てる一連の作業を、責任を持って学びます。生き物相手の毎日は大変なこともありますが、その分やりがいも十分です。仲間と協力して、楽しく実習をしていきましょう！

養豚・養鶏専攻 専攻長 河合琴音

専攻トピックス

最近の各専攻で話題になったことや実習風景などをお届けします



鉢物・緑花木

新1年生入学！ 鉢緑専攻を盛り上げていきましょう！！

この度、鉢物・緑花木専攻は新たに6名の新入生が加わり、1年生と2年生合わせて13名で令和8年度が始動しました。

1年生の中には、農業高校で農業実習の経験を積んできた学生もいれば、農業の経験の少ない学生もいるなど様々な学生が集まっていますが、どの学生も前向きに専攻実習に取り組んでいます。また、2年生の専攻の先輩が率先して1年生とコミュニケーションを取り、日々の作業を伝授しています。1年生がこうした先輩の姿を見て鉢物と緑花木の栽培から出荷、販売までを習得し、専攻を盛り上げてくれることを期待しています！

(農学科花きグループ 加藤直也)



切花

新1年生入学おめでとう！！

入学式の演台の花を生けました。

切花専攻では、毎年入学式の演台に飾る生け花を担当しています。フラワー装飾技能士の先生に立ち会って頂き、季節のお花を使った素敵な作品が完成しました。本校で栽培しているバラやストック、シンビジウムなどがたくさん使われていて農大の入学式にぴったりの作品になりました。

1年生のみなさま、ご入学おめでとうございます。

(農学科花きグループ 田中咲良)





田植えに向けた苗づくりをしています!!

今年も田植えに向けた準備が始まりました。種子消毒から始まり、播種作業を終え、育苗中です。自分たちだけで行う播種作業は初めてのため、戸惑うことも多くありましたが、無事に終えることができました。これからも初めてやる作業が続きますが、ゴールデンウィーク前の田植えに向け、一生懸命頑張っています。

(農学科作物果樹グループ 黒野大稀)



新入生との専攻実習開始!

今年度、果樹専攻では、15名の新入生が入学しました。専攻内のオリエンテーションでは、2年生が、ナシ、ブドウ、モモ、イチジク、ハウスマカン、ブルーベリーの6品目について、ほ場で説明をしていました。実習時には、2年生が1年生の作業済の箇所をチェックするなど、先輩らしい姿が見られました♪

新入生の加入により、果樹専攻は1、2年合わせて30名になり、賑やかな雰囲気を実習を行っています。今年も出荷に向けて頑張っていきます♪

(農学科作物果樹グループ 影山舞子)





校内いちご狩りの開催

露地野菜専攻は学生・教員を対象としたいちご狩りを開催しました。企画・運営は学生主体で行いました。美味しく楽しくイチゴを食べてもらうためのトッピングを用意するなど工夫したところお客さんも満足し、学生も工夫が当たり嬉しそうでした。

今回、学生は満足度向上と期待売上高から価格設定しました。筆者は、それだけでなくいちご狩りと直売の売上比較や必要な人数、労働時間などの経営評価まで踏み込むように伝えました。どのような評価ができるか楽しみです。運営お疲れ様でした。

(農学科野菜グループ 則竹伸哉)



新入生が加わりますます賑やかに！

今年度施設野菜専攻には男子11名、女子5名で合計16名の新入生が加わりました。2年生と合わせて合計30名となり、さらに賑やかになりました！

1年生は先輩や先生から収穫や出荷調整などのやり方を熱心に聞いて、前向きに作業を頑張っています！聞きなじみのない言葉や細かい出荷規格などに早く慣れて、一日も早く一人前になってね！

(農学科野菜グループ 小島優作)





新入生入学！ 仲間が増えた新しいスタート

新たに14名の仲間が酪農専攻に加わり、1、2年生合わせて30名(男子13名、女子17名、牛)で新年度が始まりました。

1年生は、牛を飼った経験のある生徒から初めて触れる生徒まで様々ですが、みんな実習に熱心に取り組んでいます。2年生は、1年生に作業を教える立場となり、人に伝える難しさを実感しながら工夫して実習を行っています。

酪農は毎日作業があります。牛の体調だけでなく自分たちの体調にも気をつけながら、少しずつ経験を重ねて成長して行ってほしいです。

(農学科畜産グループ 田中雄基)



4月は養豚・養鶏を体験しながら進路を考えます

養豚・養鶏専攻は、養豚と養鶏の2つの部門があり、新入生は、入学後にどちらの部門に進むか選択します。そのため、自分の適性を見極めるため4月は1週間交代で養豚、養鶏それぞれの実習を行います。新入生は、農業高校で畜産を学んできた学生だけではなく初めて家畜を間近にみる学生などもいるため、ミスマッチを防ぐためだけではなく、両方の家畜について知ることができる機会にもなっています。

5月には、自分の希望に基づいて養豚、養鶏に分かれてそれぞれの畜種について専門的に学んでいきます。

(農学科畜産グループ 鳥居雅樹)



学校行事トピックス

教育部農学科の始業式を行いました

4月9日(木)に、教育部農学科の始業式を行いました。

始業式は、全学生とほとんどの農大職員が一堂に会し、校長式辞、職員紹介、学生紹介(学生会及び各専攻長)、主任指導(学習・生活・進路)と進行し、新年度のスタートがきれされました。

校長式辞の中では、実学を大切にしている本学で社会に出る前の様々な経験を積み、自己を高め、楽しく勉強に励んでほしいとの話がありました。

午後のオリエンテーションでは、1年生は、先輩から学生会や部活動の紹介・学内施設の案内がありました。1年前に同じように説明を受けた2年生と、来年はそうなるのであろう新入生の姿に農大の縮図を垣間見た感がありました。

令和8年度の農大始動です。農大の活躍にご期待ください。

(学務科 蜷川貴大)



大講堂での始業式(1・2年生)



ガイダンス



学生会役員の紹介



専攻長による校内ガイド

就農希望者向けニューファーマーズ研修が始まりました

新規就農希望者を対象とした「ニューファーマーズ研修」が4月16日(木)に開講しました。本研修は、受講生16名で開講し、翌年2月25日(木)までの約10か月間行います。研修生は地域の先進農家等での実習に加え、営農に必要な知識を本校での講義・演習で学びます。

開講式の午後には最初の演習として、研修生どうしが1対1の対話形式による自己紹介を全研修生と行いました。始める前は緊張気味の人もいましたが、いざ始めると農業をやろうと思ったきっかけや将来のビジョン、就農希望作目などについて、皆和気あいあいと語りました。研修生は、お互いの交流を深めるとともに就農への決意を新たにしていました。

希望に満ちた受講生との多忙でにぎやかな1年が始まりました。

(担い手研修科 高木俊輔)



受講生と関係職員

お知らせ

【新任職員紹介】

校長	加藤友康
副校長	鈴木潤
(管理課)	
主任	山口芳輝
主任	車田昂平
(教育部)	
教育部長	平田久士
(学務科)	
学務科長	柳田美紀
総括専門員	野村和美
主任専門員	蜷川貴大
主任	林大介
(農学科)	
(花きG)	
科長補佐	田中俊光
技師	田中咲良
(野菜G)	
科長補佐	丹羽昌二
専門員	荒井俊介
(畜産G)	
専門員	中務桂佑
(企画研修部)	
(就農企画科)	
専門員	森本健次
(担い手研修科)	
科長	齋藤勉
主任	藤田真道



SNS 投稿 diar

通番 (投稿日) 内容

- 1 (4月1日) 農業機械研修の日程を公表しました
- 2 (4月7日) 米の予約販売受け付けます
- 3 (4月16日) 新入生の機械実習が始まりました
- 4 (4月17日) 4/8 入学式
- 5 (4月17日) 養豚・養鶏専攻の新年度がスタート



農大公式アカウント: Instagram・X(Twitter)
アカウント名 **faichinoudai**

Follow Me !!

